

【報道関係者各位】

2025年7月吉日
ファザーリング・ジャパン北海道

“「いい父親」ではなく「笑っている父親」へ”を合言葉に活動する

ファザーリング・ジャパン北海道がNPO法人化。

ーパパと企業、双方向へのアプローチで、子育てしやすい北海道の実現を目指しますー

私たちファザーリング・ジャパン北海道は、
「北海道に笑っている父親を増やす」ことをミッションに活動する団体です。

2017年5月より任意団体として活動してきましたが、男性育児を取り巻く環境は未だ整っていないと言えない状況を鑑み、2025年7月30日に登記申請を行いNPO法人へ移行する運びとなりました。

父親が子育てする風土が育っていない。それが、北海道の現状です。

今年3月に発表された「都道府県別ジェンダー・ギャップ指数」。
北海道は、調査対象の全4分野のうち、行政・教育・経済の3分野で
全国最下位という厳しい結果となりました。(1)

背景にあるのは、根強い「育児＝女性の仕事」という意識ではないでしょうか。
男性が育児に関わろうとしても、制度や文化の“壁”に阻まれる場面が少なくありません。

だからこそ、必要なのは父親自身の意識の変化と、社会の仕組みの変化だと感じています。

私たちファザーリング・ジャパン北海道は、
この両面からアプローチする、北海道で唯一の団体です。

「子どもとの時間を大切にしたい」

そう願いながらも、仕事の多忙さや周囲の無理解で踏み出せない父親が多くいる、
この現状を本気で変えたいと思っています。

例えば、毎年発表される育児休業取得率。
2023年度の男性の取得率は17.13%で、政府目標「2025年に50%」には
遠く及びません。(2) 今月末発表される結果にも、注目が集まることでしょう。

(1) 都道府県別ジェンダー・ギャップ指数【地域からジェンダー平等研究会】(2025年3月8日発表)

(2)「令和5年度雇用均等基本調査」(2024年7月31日発表)

そうした中、私たちはこのたび、任意団体としての活動を経て、**NPO法人として再始動することを決意しました。**

【活動内容につきまして】

「自らの子育てを楽しめる社会」の実現に向けて、**2つの方向から取り組みを進めていきます。**

1. プレパパ・現役パパ・育児OBなど、“父親の当事者”たちと共に学び、つながる活動
2. 行政・企業と連携し、制度・文化を変える活動

具体的には、以下のような事業を展開してまいります。

- 父親向け講演・セミナー（父親支援講座・両親学級など）
- 企業向け「イクボス研修」
- パパコミュニティの立ち上げ支援
- 父子ふれあいイベント（親子料理教室・絵本ライブなど） 他

今後さらに地域に根ざした活動を広げ、
ここ北海道に「笑っている父親」を増やしていけたらと願っています。

私たちの取り組みにご注目いただければ幸いです。

【メンバーにつきまして】

「パパ育休プロジェクト」のメンバーとして、父親支援講座などを行ってきた谷内政昭氏と、子ども服のおさがり交換会をメインに活動を行う「一般社団法人相互支援団体かえりん」の代表を務める星野恵氏が、このたび共同代表に就任。

理事には、育児休業取得の取得を経験したパパ、専業主婦経験のあるパパ、父親向けサークルを運営するパパなどが参画しております。

【代表・理事メンバーのご紹介】

代表理事：谷内 政昭（やち・まさあき）

2児の父。北海道内で父親支援活動を行っている「パパ育休プロジェクト」に立ち上げメンバーとして参画し、父親支援講座などを実施してきた。長男が中学時代に不登校を経験したことから、現在は不登校支援の活動なども行っている。札幌市男女共同参画審議会委員も務める。

共同代表理事：星野 恵（ほしの・めぐみ）

4児の母。夫の転勤に伴う引っ越しや、転職といったライフステージの変化を経験する中で、同じような境遇の女性や母親が孤立しやすいことに課題を感じる。産後うつの未然防止を目指して「子育て相互支援団体かえりん」を立ち上げ、おさがり交換会を開始。7年間で約5,000名を集客し、現在は1,000名を超える会員が登録している。2020年9月23日には、一般社団法人相互支援団体かえりんを設立。現在は、シェア型書店「ぷらっとBOOK」の代表としても活動している。

以下、理事メンバー（一部）

幡生 祐介（はたぶ・ゆうすけ）

2児の父。大手通信会社で管理職として働き、自身や部下の働き方改革に取り組む「イクボス」として活動中。社内研修で受けたイクボスセミナーにて、「育児はヘルプではなくシェア」という言葉に強く共感し、自らも発信・実践を始める。現在、5歳・3歳の子育てに励む“シニアパパ”（45歳以上で育児をする父親）として、等身大の育児の姿も伝えている。

水戸部 拓真（みとべ・たくま）

2児の父。大手民間企業に勤務。第一子誕生時には社内の空気を読み育児休業の取得を見送ったが、第二子誕生時には上司の育休取得などで会社の雰囲気も変化し、自身も育休を取得。この経験を通じ、男性の家事・育児にまつわる課題を「自分ごと」として捉えるように。

岩淵 聖矢（いわぶち・せいや）

3児の父。第一子の誕生をきっかけに価値観が一変。第二子誕生時に1か月の育休を取得し、子どもと本気で向き合いたいと思うように。資格を取得し、公務員から保育士に転身。その後、第3子の誕生後に主夫となり、現在は育児に専念中。パパの居場所づくりを目指して立ち上げた「NPO法人ここちち」の活動にも注力している。

小林 勇介（こばやし・ゆうすけ）

1児の父。公務員として道内の産業振興、雇用政策等に携わった後、民間企業へ転職。現在は0歳児を育てながら、仕事と家庭の両立に取り組む。「笑っている父親」を北海道にもっと増やしたいとの思いから、官民双方の視点を活かし、子育てしやすい地域づくりに挑戦中。

【団体概要】

- 団体名：ファザーリング・ジャパン北海道（NPO法人認証申請中）
- 所在地：北海道札幌市
- 公式サイト：<https://fjhokkaido.jp/>



【沿革と実績】

- 2014年、団体の前身として、任意団体「チチトミチ」を設立。父親向けのフリーペーパー「とうちゃんのこたべ」を発行し、道内幼稚園・保育園にて配布。
- 2017年、任意団体ファザーリング・ジャパン北海道を設立。あわせてNPO法人ファザーリング・ジャパンの北海道支部としての活動を開始。
- 絵本ライブや映画上映会、親子料理教室などの父子参加型イベントを開催。
- 札幌市男女共同参画室が発行する小冊子「Smile Sharing Book」にて、前代表の伊藤新氏が寄稿。
- 企業の管理職向けに「イクボスセミナー」や講演会を実施。
- 2022年、「ファザーリング全国フォーラムin北海道」を関係団体とともに開催。同フォーラムにて鈴木直道北海道知事が「イクボス宣言」を実施。

ファザーリング全国フォーラムの様子

<https://ikumen-project.mhlw.go.jp/company/region/163/>

- 令和7年1月、有志により特定非営利活動法人ファザーリングジャパン北海道の設立準備会を立ち上げ、同年5月11日、設立総会の開催を経て、設立に至る。

【今後の予定】

キックオフフォーラムを苫小牧市で開催致します。

昨年、苫小牧市長に就任した金澤俊市長がイクボス宣言を行うほか、当団体メンバーの幡生氏によるイクボスセミナー、市長を交えた地元企業とのトークセッションを予定しております。添付のチラシをご覧ください。

【イベント概要】

「イクボスから始める こどもどまんなか経営フォーラム」

日時：2025年8月25日（月）14:30～16:00 会場：苫小牧市民会館小ホール

ご希望に応じて、個別取材や事業詳細のご説明が可能です。お気軽にご連絡ください。

【お問い合わせ】 メールアドレス info@fjhokkaido.jp